

(1) 追加接種前倒しについて

新型コロナウイルス感染症対策等地方連携体制

総務省 新型コロナウイルス感染症対策等地方連携推進本部

※11月16日に金子総務大臣・本部長の下で開催

本部長：総務大臣

本部長代理：総務副大臣、総務大臣政務官

副本部長：総務事務次官、消防庁長官、自治財政局長、
地方連携総括官

本部員：自治行政局長、自治税務局長、地域力創造審議官、
大臣官房長、官房総括審議官、消防庁次長、
官房審議官(財政制度、財務担当)

幹事：地域政策課長、地域振興室長、過疎対策室長
財政課長、財政課参事官、調整課長、地方債課長、
財務調査課長、税務局企画課長、消防庁総務課長

総務省リエゾン：60名程度

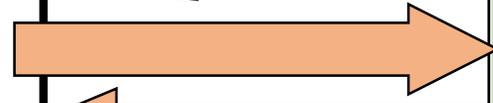
事務局：新型コロナウイルス感染症対策等地方連携推進室(自治行政局)

室長：地方連携総括官

室長代理：地域政策課長(併)、地域振興室長(併)、過疎対策室長(併)、
調整課長(併)、地方債課長(併)、財務調査課長(併)、応援派遣室長(併)、
政党助成室長(併)

室員：地域政策課職員(併)＋専任職員

・ワクチン接種に向けた支援
・その他感染症対策等のための
連携・調整

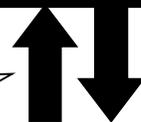


自治体の取組状況や課題を
丁寧に聴取・把握

都道府県
政令市
市区町村

全国知事会
全国市長会
全国町村会

ワクチン接種や感染症対策等に関する
最新の情報を提供



自治体の取組状況や課題を
フィードバック

厚生労働省等の関係府省

※令和3年4月27日に立ち上げた
新型コロナワクチン接種地方支援本部
を令和3年7月1日に改組

追加接種の前倒し方針について

○ 令和3年12月17日 記者会見での岸田内閣総理大臣ご発言

昨日承認されたモデルナ社のワクチンを活用し、専門家の意見も伺った上で、医療従事者と高齢者約3,100万人の方々を対象として前倒しを行います。

具体的には、まず、医療従事者等や重症化リスクの高い高齢者施設入所者などについて、接種間隔を2か月前倒しし、6か月に短縮いたします。

加えて、来年2月以降、その他の一般の高齢者について、接種間隔を1か月前倒しし、7か月に短縮いたします。オミクロン株の感染拡大が懸念される中で、ワクチンの重症化予防効果が比較的早く低下し、かつ、重症化のリスクが高い高齢者の方々を優先して、前倒しを集中させるとの判断をいたしました。お年寄りを守るため、国民の御理解をお願いいたします。

○ 令和3年12月17日 厚生労働省事務連絡（抜粋）

1. 医療従事者等及び高齢者施設等の入所者等に対する追加接種

(1) 対象者

市町村は、以下の者に対して、…初回接種の完了から8か月以上の経過を待たずに追加接種を実施できることとする。

①…医療従事者等…

②…高齢者施設等…の入所者及び従事者、通所サービス事業所…の利用者及び従事者並びに病院又は有床診療所の入院患者

(2) 実施手順

…初回接種の完了から6か月以上の間隔をおいて実施すること。

2. その他の高齢者に対する追加接種（令和4年2月以降の対応）

市町村は、1.（1）に掲げる者…以外の高齢者について、令和4年2月以降初回接種の完了から7か月以上経過した後に追加接種を実施することができることとする。

追加接種の前倒し方針について

○ 令和4年1月11日 記者会見での岸田内閣総理大臣ご発言

- ワクチンについては、1月・2月に山場を迎える、3,100万人を対象とする3回目接種の前倒しについて、各都道府県における大規模接種会場の設置や接種場所の更なる確保などを通じて、ペースアップを要請します。目途が立った自治体は、市中にある全国900万回分の未使用ワクチンなども活用して、高齢者接種を更に前倒します。
- さらに、3月以降は、今般、追加確保したモデルナ1,800万人分を活用して、一般分についても前倒しします。国としても、自衛隊による大規模接種の設置など、自治体の取り組みを後押ししていきます。
- オミクロン株は若年層やお子さんの感染も多く見られます。12歳以上の若い方で、まだワクチン接種をしていない方はぜひ接種をお願いします。なお、これまでワクチン接種の対象となっていなかった、12歳未満の子どもについて、薬事など必要な手続を経て、希望者に対して、できるだけ早く、ワクチン接種を開始します。

追加接種用のワクチンの配送量について（追加接種前倒し後のイメージ）

- 追加接種については、2回目接種完了から8か月後を念頭に、約4,100万回分のワクチンの配分を11月までに提示済み。
- 高齢者等の接種間隔の前倒し等を踏まえ、約700万回分のワクチンを追加で配分する。

（単位：万人）

追加接種のタイミング （2回目接種時期）		R3.12月 （R3.3月,4月）	R4.1月 （R3.5月）	R4.2月 （R3.6月）	R4.3月 （R3.7月）	R4.4月 （R3.8月）	R4.5月 （R3.9月）	R4.6月 （R3.10月）	R4.7月 （R3.11月）
対象者 万人（注1）	医療従事者等 （約576）	487	89						
	高齢者 （約3,273）	307	343	2,227	291	57	33	16	
	一般 （約4,972）	85	158	14	313	1,186	1,461	1,289	466
	職域 （約1,155）				170	576	185	204	21

約4,800万回分を配分（約4,100万回分に加え、700万回分を追加配分）
（ファイザー社ワクチン約2,400+200万回、武田/モデルナ社ワクチン約1,700+500万回）

配送日程：ファイザー約1,600万回（2021年内） 武田/モデルナ約1,700万回（2022年1月下旬）
 約800+200万回（2022年2月） 約 500万回（2022年2月上旬）

注1 「医療従事者等」は、令和3年7月30日までのワクチン接種円滑化システム（V-SYS）への報告から集計し、「職域」を除くその他の区分については、令和3年12月12日までのワクチン接種記録システム（VRS）への報告から集計している。
 「職域」については、都道府県単位で令和3年12月5日までのV-SYSへの報告数と上記のVRSの報告数を比較し大きい方を集計している。

注2 追加配分するワクチンのうち、接種間隔の前倒しで必要なワクチンを超える分は、令和4年4月の接種対象者数で按分する。

追加接種の前倒しについて（イメージ）

デルタ株等へのワクチン効果のうち、重症化予防については2回接種完了半年後も高い効果が維持されるものの、高齢者に関しては、比較的低下が早いとの報告がある。病床確保の観点からも、重症化リスクの高い高齢者等から順次前倒し、重症化する患者数を抑制することが重要。

このため、①a) **医療従事者等**と、b) **高齢者施設等の重症化リスクの高い集団（高齢者施設等の入所者及び従事者など）**を優先対象とし接種間隔を**2か月前倒す**ことを可能とし、②c) **その他高齢者**も**来年2月以降1か月前倒す**ことを可能とする。

（単位：万人）

追加接種のタイミング （2回目接種時期）		R3.12月 (R3.3月,4月)	R4.1月 (R3.5月)	R4.2月 (R3.6月)	R4.3月 (R3.7月)	R4.4月 (R3.8月)	R4.5月 (R3.9月)	R4.6月 (R3.10月)	
対象者 (万人) (注)	医療従事者等 (約576)	104	200 ← 2か月前倒し可	183 ← 2か月前倒し可	89				
	高齢者 (約3,251)		高齢者施設等利用者	61 ← 2か月前倒し可	1,160 ← 2か月前倒し可	1,624	313	58	35
			その他			← 1か月前倒し可	← 1か月前倒し可	← 1か月前倒し可	← 1か月前倒し可
	一般 (約4,479)		高齢者施設等従事者	42 ← 2か月前倒し可	73 ← 2か月前倒し可	435	1,194	1,462	1,273
			その他						
	職域 (約1,071)					168	500	155	248

（注）「医療従事者等」は、令和3年7月30日までのワクチン接種円滑化システム（V-SYS）への報告から集計し、「職域」を除くその他の区分については、令和3年11月14日までのワクチン接種記録システム（VRS）への報告から集計している。

「職域」については、都道府県単位で令和3年10月31日までのV-SYSへの報告数と上記のVRSの報告数を比較し大きい方を集計している。（令和3年8月分以降については、令和3年7月分におけるV-SYSとVRSの報告数の丈比べによる増加率（1.15）と同率をV-SYSの報告数に乗じることで推計している。）

新型コロナワクチン接種の進捗状況

- 全年代への新型コロナウイルスワクチン接種率は、1/10時点で
1回目約79.9%（約1億113万人）、2回目約78.5%（約9,941万人）
- 高齢者への新型コロナウイルスワクチン接種率は、1/10時点で
1回目約92.5%（約3,307万人）、2回目約92.1%（約3,294万人）

<総接種回数内訳>

		接種回数	接種率
総接種回数		201,412,837	—
	1回以上接種者	101,126,349	79.9%
	2回接種完了者	99,413,078	78.5%
	3回接種完了者	873,410	0.7%
うち高齢者（65歳以上）		66,015,655	—
	1回以上接種者	33,071,776	92.5%
	2回接種完了者	32,943,879	92.1%
うち職域接種		19,325,629	—
	1回以上接種者	9,799,599	—
	2回接種完了者	9,526,030	—

出典：首相官邸HP 新型コロナワクチンについて（1/11公表）

※1：総接種回数は、令和4年1月10日までのもの。

※2：9月1日公表分より、接種率の計算に用いる人口データを最新のもの（令和3年1月1日現在の住民基本台帳に基づくもの）に変更。

※3：職域接種は、企業や大学等において、職域（学校等を含む）単位でワクチンの接種を行うものであり、令和4年1月2日までのもの。